

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	岐阜県立岐阜工業高等学校 定時制		
実 施 期 間	平成25年6月7日(金)、6月10日(月)、11月22日(金)		
実 施 概 要	1 授業参観 工業技術科の専門科目を主とする公開授業を実施 2 懇談会 本校の教育活動について、保護者、学校評議委員、岐工定時制教育振興会役員、地域住民との意見交流を実施 3 人権に関する統一LHR(人権講話) 国際化が進む世界で、人権尊重の精神を大切にし、外国人と好ましい人間関係を築くための講話 4 校内 生徒生活体験発表会 クラス代表による生活体験発表を実施		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	11 人	計 14 人
	地域関係者	3 人	
実 施 状 況	○授業参観・懇談会 生徒と一緒に給食の時間を過ごし、授業参観を通して生徒の学校での様子を見ていただいた後に、定時制振興会役員の方や地域の方、保護者と学校との懇談会を設けた。 ○人権に関する統一LHR(人権講話) 演 題 『国際社会の中での人権問題を考える』 講 師 岐阜地方法務局 羽田野 和孝氏 堀場 賢一氏 国際化の進む世界で、外国人と好ましい人間関係を築くために、偏見やイメージを持って外国人と交流するのではなく、個人としてその「人」を見ることが大切であることが分かる内容であった。 ○校内 生徒生活体験発表会 クラス代表ではあるが、体験発表を通して、人前で話す積極的な態度を培い、豊かな表現力や正しく聞く態度を身に付けさせることができた。また、その様子を希望した保護者に見ていただいた。		
成 果 及 び 課 題	○授業参観・懇談会 明るく活気のある学校生活ができているという率直な意見がいただけた。また、本校の定時制教育への理解をより深めていただく良い機会にもなった。 ○人権に関する統一LHR(人権講話) 外国人に関する人権課題は、最近よく聞く身近なものであり、真剣に講話に耳を傾ける生徒の姿も多く見られた。大変意義のある考えさせられる内容であった。 ○校内 生徒生活体験発表会 生徒体験発表を通して、今の自分自身の生活の在り方・生き方を深く考え直せる良い機会になった。また、人前で話す積極的な態度と豊かな表現力、真剣に聞く姿を見てとても感心されていた。		